



香川県立中央病院
Kagawa prefectural central hospital

れんけい

題字：松尾信彦書

出血リスクの高い心房細動患者さんに朗報 左心耳閉鎖術スタート 県内初・3例成功

循環器内科

部長 野坂 和正

部長 大河 啓介

心房細動は70歳以上の高齢者の5%に合併する不整脈で、今後さらに増加すると予測されています。心房細動の合併症のひとつに脳梗塞などの血栓塞栓症があり、血栓形成を抑える抗凝固薬を内服して予防します。最近の抗凝固薬は安全性に優れていますが、大出血を生じて継続が難しくなる患者さんや、内服下でも血栓塞栓症をきたす患者さんが少なからず存在します。アブレーション治療を行えば抗凝固薬を中止できる可能性は高まるものの、心房細動の再発リスク・血栓塞栓症リスクが高い患者さんでは継続が必要となります。

こうした患者さんに対して、海外では血栓源の90%を占める左心耳をWATCHMAN™と呼ばれるデバイスで閉鎖する手術が行われてきました。この手術によって抗凝固薬を中止でき、出血リスク・血栓塞栓症とも減少することが報告されています^{1), 2)}

本邦では2019年9月に保険償還され、当院でも2021年4月より施行可能となりました。現在3例の患者さんに行い、いずれも良好な経過です。全身麻酔下に鼠径部の静脈からカテーテルを挿入し、心房中隔を通過して左心耳に至り、カテーテル先端から左心耳の入口を塞ぐようにWATCHMANデバイスを展開します【図】。

手術は1時間ほどで終了し、経過が良ければ当日から歩行可能となります。デバイス表面には特殊なメッシュが貼られており、術後1ヵ月後には内皮に覆われ、左心耳は閉鎖します。

術後6か月で抗凝固薬の中止が可能となります。

抗凝固薬内服中の患者さんでお悩みの際はぜひご相談ください。

火曜日・水曜日の不整脈外来（大河）で対応しています。

引用文献

- 1) Nielsen-Kudsk J.E., et al. Clinical Outcomes Associated With Left Atrial Appendage Occlusion Versus Direct Oral Anticoagulation in Atrial Fibrillation. J Am Coll Cardiol Interv. 2021;14(1):69-78.
- 2) Reddy VY, et al. 5-Year Outcomes After Left Atrial Appendage Closure: From the PREVAIL and PROTECT AF Trials. J Am Coll Cardiol. 2017;70(24):2964-75.

【左心耳閉鎖術の適応】

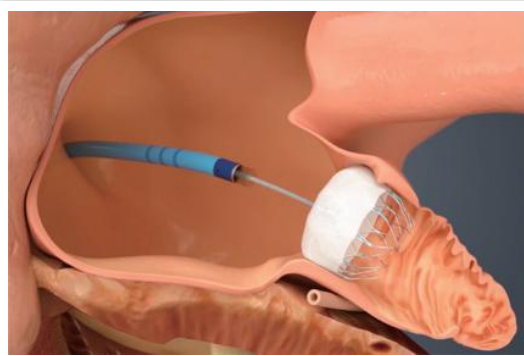
血栓塞栓症リスクが高く、抗凝固薬の長期投与が推奨される患者さんで、以下の条件を満たす場合に考慮しています。

●出血リスクが高い

大出血の既往、転倒による外傷の既往、抗血小板剤2剤以上の併用が必要
HAS-BLEDスコア3点以上（腎障害、肝障害など）

●血栓塞栓症リスクが高い

抗凝固薬内服下でも血栓塞栓症を生じる、左心耳内血栓・左心房内もやもやエコー像を認める



急性期脳梗塞治療の治療ウィンドウは意外と広い!?

— 諦めない医療を目指して —

脳神経外科 医長 高橋 悠



↑ 脳神経外科の
ページがご覧
いただけます。

●脳梗塞との戦い

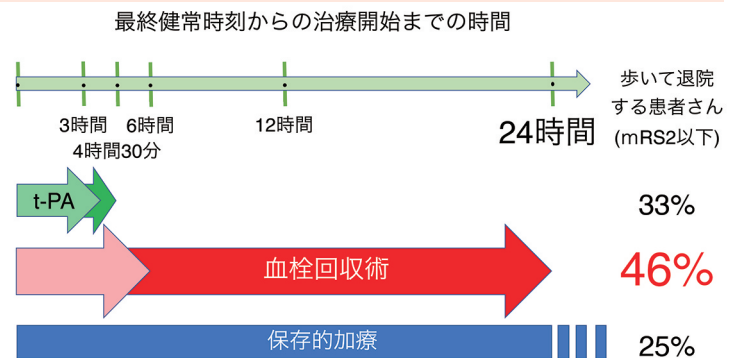
脳梗塞とは、脳の血管が詰まって神経細胞が壊死してしまう病気で、麻痺や失語症などの後遺症を残したり、場合によっては死に至ります。ただし、神経細胞は血管が詰まった直後に壊死するわけではなく、早期に血流を再開できれば神経細胞の回復が期待できます。そこで現在、脳神経外科で急性期脳梗塞治療に対して積極的に行っている再開通療法について紹介します。

●再開通療法の歴史

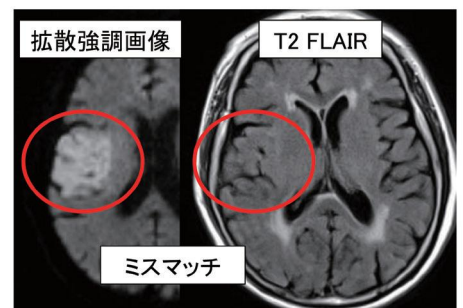
治療で一番大事な要素は「時間」です。低酸素状態に陥った神経細胞は、その程度と時間に比例してどんどん死滅していきますから、1分1秒でも早く治療を開始する必要があります。脳梗塞の再開通療法は、1980年代より行われ始めましたが、当初は血栓をカテーテルで機械的に破碎するだけでした。これでは大血管の再開通は得られても崩れた血栓が末梢の血管を再開塞させてしまいます。そこで次第に血栓自体を溶解する治療に移行します。1996年に米国で血栓を強力に溶解するアルテプラゼ(t-PA)が開発され、日本にも2005年に導入され脚光を浴びました。ところが、この薬の適応は最終健常時刻(最後に元気な姿が確認された時間)から3時間以内(現在は4.5時間以内)と治療ウィンドウが狭いことや、大血管での再開通率の低さが問題でした。そこで新たに血管内治療用のカテーテルの開発が進み、現在では血栓を回収して除去する、急性期脳血栓回収術が行われるようになりました。

●急性期脳血栓回収術：諦めない治療法

この手術は主に、内頸動脈・中大脳動脈・脳底動脈などの大血管に詰まった血栓を、特殊なステント(血栓をからめとる)や吸引カテーテル(血栓を吸い出す)を用いて取り除く方法です。この治療のおかげで、歩いて自宅に帰れる人が約2倍になりました。ただし、この治療もt-PAと同じように適応の時間制限がありました(最終健常時刻から6時間以内)。しかし、6時間以上経過していても、まだ救うことのできる神経細胞が残されている可能性があります。そこで様々な研究が進み、現在では、臨床症状や画像評価の条件を満たしていれば、最終健常時刻から6時間を過ぎてても24時間以内であれば血栓回収術が可能になりました。つまり、朝起きたら手足が麻痺していた、というような発症からの時間経過が不明の患者さんでも、治療できるチャンスができたということです。血栓回収術の適応の判定にはMRIによる迅速かつ的確な診断が必要です。詳細をお話すると、拡散強調画像で虚血エリアが高信号になっていても、FLAIR画像あるいはT2強調画像で高信号になっていない部位(ミスマッチと言います)は、血流再開により救うことができるということです。

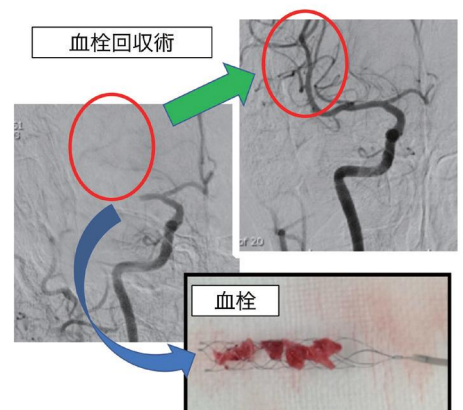


MRIで助けることができる領域がわかる！



●県民を脳梗塞から救う体制づくり

血栓回収術の登場とその適応の拡大により、脳梗塞急性期での治療選択肢が広がり、助かる患者さんが増えています。一人でも多くの患者さんを助けるためには、少しでも早く、MRI撮影ができて、その先のt-PA投与あるいは血栓回収のできる病院へたどりつける体制を整備することが大切です。私たちは、「脳卒中・循環器病対策基本法」に対応し、1年365日24時間体制で脳卒中の救急医療に取り組んでいます。



ISO 15189 の認定を 取得しました

中央検査部長 馬場 伸介
技師長 平内 美仁



ISO 15189（以下ISO）は臨床検査室の品質と能力に関する特定要求事項を提供するものとしてISOの技術専門委員会が作成した国際規格です。認定取得により「臨床検査室がマネジメントシステムを運営し、技術的に適格であり、技術的に妥当な結果を出す能力があること」が実証されます。つまり臨床検査室の信頼性の向上や責任の明確化、さらには医療安全への貢献などが期待できます。

私たち中央検査部では2019年9月のキックオフからスタッフ一丸となりISO認定取得に向けて取り組んでまいりました。昨年9月の第1段階審査、同年12月の第2段階審査を経て、是正処置を行い日本では唯一の臨床検査室認定機関である日本適合性認定協会から本年3月19日付けで認定証を受け取ることができました。

このISOに関連して、臨床治験を実施する医療機関は認定を取得すべきであるとか、臨床研究中核病院の施設要件、さらにはがんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に必要とされます。

最後になりましたが、「私たちは、香川県の中核病院の検査部として優しく、信頼される医療者を目指し、質の高い検査情報を提供します。」という中央検査部の基本理念に基づいて、全ての利用者みなさまの要求に応えられるように努めてまいります。今後とも中央検査部をよろしくお願い申し上げます。



緩和ケアセンター便り (6)

心を支える食事を目指して～

緩和ケア病棟管理栄養士・緩和ケア専任管理栄養士
濱田 真衣 横田 順子

がん治療中の患者さんや、末期心不全の患者さんなどは、多くの栄養管理に関する問題をかかえています。特に、経口摂取量の低下は、栄養状態の低下だけでなく、QOL低下にもつながり、深刻な問題です。疼痛や呼吸苦、化学療法や放射線治療で生じる副作用、ストレス等のさまざまな原因によって生じる食事摂取状況の変化に、食事がストレスにならないように配慮し、少しでも摂取栄養量が増加し、治療効果を高めるように下支えするのが、緩和ケアチーム管理栄養士の役割です。

また、緩和ケア病棟では、食事の時間がこころ温まる時間になるように、患者さんの食事に対する価値観を一番に考え、ご家族、病棟スタッフ、給食委託会社のスタッフと相談して食事を提供しています。急性期病院という条件の中で、できることは限られていますが、「心を支える食事」を提供できるように努めています。

オリーブ食・オリーブ食事 1/2

「砂を嚥んでいる感じで食べられない」と、食欲低下が続いていた患者さんが、オリーブ食は摂取でき、表情が明るくなりました。



人気の「ちらし寿司」

アソート食

「胡瓜の漬物を食べたい」という思いに、給食委託会社のスタッフが協力。食べやすいように塩もみ胡瓜にし、通常のアソート食に追加しました。



塩もみ胡瓜

コラム おつうじにまつわるうんちく話



その18

消化器内科 部長 田中 盛富

その方面で活躍した先人の言葉は重く、心に響くものがあります。

No organ in the body is misunderstood, so slandered and maltreated as the colon.
Sir Arthur Hurst, 1935

Arthur Hurst 先生は、20世紀初頭に神経疾患や消化器疾患を中心とした分野でその名を残した内科医で、英国消化器病学会の創設者の一人です。この言葉は直訳すると「体内の臓器の中で、大腸ほど中傷や虐待を受けて誤解されている臓器はない。」のような感じの意味合いで、少しだけ有名な言葉です。大腸が「うんち」に一番関係が深い臓器であるというだけで、誹謗中傷される大腸の気の毒な立場が表現されています。

当時の一般的な理解では、大腸は単に「うんち」を作り、「うんち」を溜めては出す臓器であり、便秘が続くと大腸の中に悪い物質が溜まって病気になるという考えが強く、今の時代からみると誤った治療が行われていたという背景があります。また、下剤の販売促進のため新聞広告などで便秘の恐怖があらわれ、大腸がその問題の元凶とされていたようです。さらに、大腸といえば「うんち」や「おなら」が連想されることから笑いの種になり、大腸が悪いわけではないのに、大腸にとっては迷惑であったことが想像できます。

Arthur Hurst 先生は、このような大腸の残念な状況を憂い、大腸の重要な役割を説き、「大腸は悪くない」と大腸の名誉回復を試みた方でした。21世紀の現代、大腸の機能が少しずつ解明され、特に腸内細菌においては宝の山とまで言われるようになりましたが、今日に至るまでの道のりには、大腸の気の毒な状況に同情した先人の感性があったことを忘れてはなりません。



医師の人事異動 4月1日付転入 ①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



ひらの ゆういち
平野 佑一（消化器内科）



①香川大学②平成29年
③テニス④医師5年目、消化器内科に赴任しました。大変なご時世ですが戦力になれるように頑張ります。

ふじた りお
藤田 莉緒（消化器内科）



①島根大学②平成30年
③映画鑑賞④微力ながらお役に立てよう頑張ります。

いとう たいち
伊藤 太一（呼吸器内科）



①岡山大学②平成29年
③スポーツ観戦④日々研鑽に励み、地域の健康増進に寄与できるように頑張ります。

わたたに ひろゆき
綿谷 博雪（腎臓・膠原病内科）



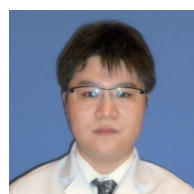
①山形大学②平成16年
③古い街並み・歴史的建造物の探訪④腎臓内科、一般内科でのこれまでの経験を生かし、診療にあたっていきたいと思います。

かわぐち ともひろ
川口 朋宏（循環器内科）



①東北大学②平成20年
③世界遺産巡り、筋トレ、ダイビング④これまで学んできたことを生かして、香川県の皆様のお役に立てれば幸いです。

すどう ゆうや
須藤 雄也（循環器内科・総合診療科）



①自治医科大学②平成24年
③詰将棋④香川県の循環器診療、総合診療を支えるために力を尽くします。

あや ゆうすけ
綾 悠佑（内科）



①岡山大学②平成30年
③バスケットボール④1年間という短い期間ですが、少しでも地域病院に貢献できるようにがんばります。

まつむら よしあき
松村 吉晃（内科）

①岡山大学②平成30年
③音楽鑑賞④高松市出身で
す。地元の医療に貢献でき
るよう精一杯がんばります
ので、よろしくお願いいた
します。

おかばやし ひろき
岡林 弘樹（消化器・一般外科）

①岡山大学②平成21年
③バスケットボール、スノーボード、
ゴルフ④患者様、スタッフの
みなさんを笑顔にできる
よう頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願いいた
します。

さんがわ けんじ
寒川 顕治（心臓血管外科）

①岡山大学②平成2年
③登山、サッカー、スキー
④28年ぶりに香川県に帰っ
て来ました。地元の医療に
貢献したいと思います。

なるみや ゆうと
成宮 悠仁（心臓血管外科）

①岡山大学②平成28年
③弓道④初めて香川にやっ
て参りました。色々なこと
に早く慣れて、精一杯診療
に当たらせていただきます。

うえた まさたか
植田 昌敬（整形外科）

①岡山大学②平成28年
③水泳④1年半ぶりに戻っ
て参りました。少しでも成
長した姿を見せ、診療に
貢献できるよう頑張りたい
と思います。

くばた こうさく
久保田 耕作（整形外科）

①香川大学②平成28年
③ドライブ④精一杯頑張り
ます。よろしくお願い致し
ます。

なかむら だい
中村 大（整形外科）

①岡山大学②平成31年
③スポーツ観戦④広島
の呉から来ました。外傷
を中心に整形外科疾患全
般について携わることが
できればと思っています。

かつべ りこ
勝部 璃子（形成外科）

①愛媛大学②平成28年
③温泉、水泳、酒④患者
さんとお互いに信頼でき
る関係を築き、安心し納
得できる医療の提供を心
がけています。

まつばら まり
松原 満理（小児科）

①香川大学②平成29年
③音楽④私なりに精一杯
頑張りますので、宜しく
お願い致します。

すぎの けんじ
杉野 謙司（泌尿器科）

①岡山大学②平成26年
③釣り④一生懸命頑張り
ます。

かわしま しゅう
川島 修（眼科）

①兵庫医科大学②平成29年
③ゴルフ④この度、香川
県立中央病院に配属とな
りました。最初は慣れない
こともたくさんありますが
、よろしくお願いします。

しみず りえこ
清水 理恵子（歯科・口腔外科）

①岡山大学②平成27年
③マラソン、音楽鑑賞④
香川県の歯科医療に貢
献できるよう頑張ります
。どうぞ宜しくお願いしま
す。

なかたに まさひろ
中谷 真大（麻酔科）

①岡山大学②平成30年
③美味しいお酒とご飯を
楽しむこと④忙しい中
でも患者さんのことを第
1に考えて動きたいです。

おの さわこ
小野 早和子（病理診断科）

①岡山大学②平成25年
③テニス④精一杯頑張り
ますので、ご指導のほど
どうぞ宜しくお願い致し
ます。

あさだ かずし
浅田 和志（研修医）

①香川大学②令和3年
③ドライブ、ゴルフ④出
来るだけ早く香川の医
療に貢献できるように、
毎日コツコツ頑張ってい
きたいと思っています。

あべ ゆうき
安部 裕貴（研修医）

①岡山大学②令和3年
③歌・踊り・筋トレ④毎
日笑顔を絶やさず、病
院の方々や患者さんた
ちに元気を届けられる
よう頑張ります。

いけだ あきと
池田 彬人（研修医）

①広島大学②令和3年
③サッカー観戦、読書④専門に進んだ際、その分野の疾患のみならず合併する全身の異常を診られる医師を目指し、研鑽に励みます。

おおくら たける
大倉 健（研修医）

①自治医科大学②令和3年
③料理、ヨット、ボルダリング
④香川県に貢献するため、積極的に参加し学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

おおにし まさと
大西 将統（研修医）

①徳島大学②令和3年
③スポーツ観戦④何事も積極的に取り組み、精一杯頑張ります。よろしくお願ひ致します。

おおにし ゆうき
大西 悠幹（研修医）

①自治医科大学②令和3年
③バスケットボール④豊富な症例を学べる環境ですので、ここでしか体験が難しい手技もあると思って、一生懸命取り組みます。

きむら ゆうた
木村 優太（研修医）

①香川大学②令和3年
③釣り、水泳④初めてのことばかりですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。

くみはし かすみ
組橋 佳純（研修医）

①山口大学②令和3年
③読書、旅行④初期研修の2年間を通して、医師として必要な知識や技能、判断力をしっかりと身につけたいと思っています。

さいとう まさとし
斎藤 賢寿（研修医）

①香川大学②令和3年
③スポーツ観戦④基本的な手技を身に付け、貪欲に積極的な姿勢で様々なことを吸収する2年間にしたいと思っています。

そごう なお
十河 なお（研修医）

①香川大学②令和3年
③カメラ④一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。

なかじょう けん
中城 健（研修医）

①岡山大学②令和3年
③テニス、映画鑑賞④分野にとらわれることなく積極的に学び、立派な医師になれるよう努力したいと思っています。

やまうち ゆたか
山内 豊（研修医）

①香川大学②令和3年
③スキー、スノーボード
④初期研修は2年間という短い間ではありますが、多くのことを学べるように頑張りたいと思っています。

よだ ともや
依田 知也（研修医）

①宮崎大学②令和3年
③プロ野球観戦④香川県の医療にしっかり貢献していきたいと思っています。

やまもと いずみ
山本 和泉（研修医）

①岡山大学②令和3年
③旅行④日々成長できるよう、精一杯努力していきたいと思っています。ご指導のほどよろしくお願ひ致します。

医師の人事異動

転出

3月31日付

木下 翼（消化器内科）
溝口 仁志（呼吸器内科）
坂根 弘祐（循環器内科）
堀川 恭佑（呼吸器外科）
戸嶋 圭（乳腺・内分泌外科）
林田 智博（心臓血管外科）
小川 達也（心臓血管外科）
山本 乃利男（整形外科）

奥田 龍一郎（整形外科）
三浦 佑樹（形成外科）
野口 裕太（小児科）
佐野 雄芳（泌尿器科）
秋光 純一郎（眼科）
柴田 茜（歯科・歯科口腔外科）
伊藤 慶昭（麻酔科）
溝渕 光一（病理診断科）

上枝 瞬治（研修医）
栗山 千晶（研修医）
豊田 裕士（研修医）
村井 篤弥（研修医）
浮田 健太朗（研修医）
西山 将（研修医）
松山 たまも（歯科研修医）

4月30日付

山崎 康司（腎臓・膠原病内科）

